

第7節 美術・文学館課

〔総括概要〕

美術・文学館課の主な分掌事務は、栃木市立美術館及び栃木市立文学館の管理運営及び展示、美術作品・文学作品等の調査・研究等、教育普及活動などである。

栃木市立美術館は、企画展（「大広重展―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界―」「アートリンクとちぎ2025 壺からわかる！浮世絵超入門+オドロキの超応用編」「喜多川歌麿と栃木の狂歌」「鈴木賢二と徹」）、及び、収蔵品展Ⅰ～Ⅱ、特集展「もっと詳しく雪月花」を開催した。そのほか、展覧会に関連した講演会、ギャラリートーク、ワークショップや、親子での来館者を対象としたこどもの日のイベント「ミュージアムであそぼう！」等や、市内の飲食店と連携した事業等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。なお、年間を通じて、市内小中学校の教員を対象に、美術館並びに文学館への理解を深め、児童生徒の校外学習での活用を促進するため、「先生のための見学会」を開催した。

栃木市立文学館は、2回の企画展（「くじけないで～柴田トヨのことば～」・「歷程」と逸見猶吉、岡安恒武」）を開催した。また、年間を通じて栃木出身の作家である山本有三、吉屋信子、詩人の柴田トヨの各氏を中心に、市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

総務係

1 栃木市立美術館・文学館等の入館者数

(1) 栃木市立美術館

ア 展覧会別入館状況

(イ) 企画展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
大広重展―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界― 4月12日～6月15日	55	8,139	4,316	3,302	7,618	521
アートリンクとちぎ2025 壺からわかる！浮世絵超入門+オドロキの超応用編 7月5日～9月23日	67	3,718	2,677	825	3,502	216

喜多川歌麿と栃木の狂歌 10月10日～12月14日	55	10,579	8,112	2,166	10,278	301
鈴木賢二と徹 1月10日～3月22日	61	1,831	1,199	581	1,780	51
合計	238	24,267	16,304	6,874	23,178	1,089

(イ) 収蔵品展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
収蔵品展Ⅰ 7月5日～9月23日	128	5,627	3,951	1,408	5,359	268
収蔵品展Ⅱ 1月10日～3月22日						
うち収蔵品展のみ観覧	128	78	75	2	77	1

(ウ) 特集展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
もっと詳しく雪月花 4月12日～6月15日	55	8,139	4,316	3,302	7,618	521

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	大人(人)			中学生以下 (人)
			有料	無料	計	
4	16	1,417	1,132	217	1,349	68
5	27	3,085	2,241	652	2,893	192
6	12	3,637	943	2,433	3,376	261
7	23	1,069	747	248	995	74
8	25	1,420	992	326	1,318	102
9	19	1,282	988	253	1,241	41
10	19	3,791	3,159	467	3,626	165
11	24	4,697	3,247	1,349	4,596	101
12	12	2,091	1,706	350	2,056	35
1	19	573	378	180	558	15
2	23	568	383	169	552	16
3	19	715	463	232	695	20

合計	238	24,345	16,379	6,876	23,255	1,090
----	-----	--------	--------	-------	--------	-------

(2) 栃木市立文学館

ア 展覧会別入館状況

(ア) 企画展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数(人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
くじけないで ～柴田トヨのことば～ 4月19日～9月28日	139	4,226	2,191	1,647	3,838	388
「歷程」と 逸見猶吉、岡安恒武 10月11日～3月22日	141	3,149	2,440	600	3,040	109
合計	280	7,375	4,631	2,247	6,878	497

(イ) 常設展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数(人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
常設展	305	7,629	4,833	2,292	7,125	504
うち常設展のみ観覧	305	254	202	45	247	7

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	大人(人)			中学生以下 (人)
			有料	無料	計	
4	25	1,161	275	797	1,072	89
5	27	2,497	676	1,582	2,258	239
6	25	2,358	333	1,813	2,146	212
7	27	818	258	512	770	48
8	27	1,260	340	834	1,174	86
9	24	1,134	416	674	1,090	44
10	27	2,027	752	1,207	1,959	68
11	26	3,072	847	2,113	2,960	112
12	24	1,454	443	978	1,421	33
1	24	630	153	455	608	22
2	23	749	149	574	723	26
3	26	945	191	709	900	45
合計	305	18,105	4,833	12,248	17,081	1,024

2 栃木市立美術館・文学館運営協議会

美術館・文学館の運営を円滑に行うための運営協議会を開催した。

- ・委員数 10名（うち公募委員2名）
- ・任期 令和7年7月1日から2年間

開催日	内容
8月5日（火）	・ 栃木市立美術館・文学館運営協議会正副会長の選出について ・ 令和7年度事業の状況について ・ 令和8年度事業計画（案）について
2月20日（金）	・ 令和7年度事業の状況について ・ 令和8年度事業計画（案）について

3 栃木市立美術館・文学館サポーター（運営ボランティア）

運営ボランティアとして、栃木市立美術館・文学館サポーターに受付補助、イベント補助等の活動に参加いただいた。

- ・登録人数 53人

活動内容	活動人数
美術館受付補助業務	延べ214人（4月12日～3月22日）
イベント・講演会等補助業務	延べ93人
チラシ等発送業務	延べ40人
ギャラリートーク補助業務	延べ15人
サポーターによるギャラリートーク	延べ20人

4 栃木市立美術館・文学館賛助制度（企業等サポーター）

財源を確保するとともに、官民連携による美術館・文学館の活性化を図るため、美術館・文学館の事業の趣旨に賛同し、賛助する企業・団体等を募集した。

- ・企業等サポーター（※1口50,000円）

株式会社呉光製作所（1口）、滝沢ハム株式会社（2口）、トヨタホーム株式会社栃木事業所（1口）、栃木信用金庫（2口）、株式会社ホンダカーズ栃木中央（2口）、ケーブルテレビ株式会社（1口）

5 とちぎMuséeフェスの開催

市内外に美術館及び文学館の魅力をPRし、新たなファンの獲得と、まちなかの賑わいの創出を図るため、「とちぎMuséeフェス2025」を開催した。

- ・開催日 11月3日（月・祝）
- ・会場 栃木市立美術館・文学館ひろば
きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
- ・内容 サックスコンサート、保育園児による太鼓演奏、書道パフォーマンス、

文学館講座「有三、信子、そして鏡花ー日本近代文学における位相ー」、
アートに飛び込む！浮世絵ヨガ～狂歌篇～

学芸係

1 栃木市立美術館・文学館展示関係

(1) 栃木市立美術館

企画展「大広重展ー東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界ー」をはじめ、4回の企画展及び2回の収蔵品展、1回の特集展「もっとくわしく雪月花」を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。また、市内小中学校の教員向けに「先生のための見学会」を開催した。

ア 開館期間 4月12日（土）～3月22日（日）

イ 講演会

(ア) 「喜多川歌麿と栃木」

- ・実施日 11月1日（土）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 浅野秀剛氏（大和文華館館長・あべのハルカス美術館館長）
- ・聴講者数 80名

(イ) 「天明狂歌の大流行と栃木の狂歌」

- ・実施日 11月23日（日・祝）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 小林ふみ子氏（法政大学教授）
- ・聴講者数 45名

ウ イベント等

(ア) 学芸員によるギャラリートーク

- ・実施日 4月12日（土）、5月25日（日）、7月5日（土）、10月18日（土）、11月30日（日）、1月10日（土）
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 累計201名

(イ) 学芸員によるキッズギャラリートーク

- ・実施日 4月20日（日）、5月5日（月・祝）、8月17日（日）、10月19日（日）、1月18日（日）
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 累計12名

(ウ) 美術館・文学館サポーターによる雪月花ギャラリートーク

- ・実施日 4月29日（火・祝）、5月11日（日）、6月7日（土）、9月7日（日）、9月21日（日）、10月13日（月・祝）、11月9日（日）
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 累計180名

- (エ) ワークショップ「浮世絵摺り体験！」
- ・実施日 4月27日(日)、5月18日(日)、5月25日(日)、8月3日(日)、9月20日(土)、11月2日(日)、11月30日(日)、12月6日(土)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 累計20名
- (オ) ワークショップ「コラージュ!“広重ブルー”でつくる「蔵の街」」
- ・実施日 6月1日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 13名
- (カ) ワークショップ「藍で染めよう」
- ・実施日 7月19日(土)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 10名
- (キ) 美術館・文学館でミッションに挑戦！
- ・実施日 8月17日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館、栃木市立文学館
 - ・講師 美術館・文学館サポーター
 - ・参加者数 7名
- (ク) ミニ講座「浮世絵超入門！浮世絵のミカタ」
- ・実施日 8月24日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・参加者数 22名
- (ケ) オリジナル消しゴムはんこづくり
- ・実施日 10月25日(土)
 - ・会場 栃木市立美術館多目的室(つなてみち)
 - ・講師 消しゴムはんこやおさと氏
 - ・参加者数 11名
- (コ) 座談会「思い出すままに：賢二と徹との暮らし」
- ・実施日 1月24日(土)
 - ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)大交流室
 - ・講師 鈴木解子氏(語り手・鈴木賢二四女、鈴木賢二作品室如輪房)、根本夏代氏(語り手・鈴木徹長女)、杉村浩哉(聞き手・栃木市立美術館館長)
 - ・聴講者数 65名
- (サ) オシラサマ伝説の世界を訪ねる
- ・実施日 2月1日(日)
 - ・会場 栃木市立美術館展示室、多目的室(つなてみち)
 - ・講師 根本夏代氏(朗読・鈴木徹長女)、安藤喜代氏(ダンス)、杉村浩哉(展示案内・栃木市立美術館館長)
 - ・参加者数 30名

(シ) 絵を見て話そ！学芸員と一緒にトーク（対話型鑑賞）

- ・実施日 2月15日（日）
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 3名

(ス) ワークショップ「鈴木賢二の缶バッジをつくろう」

- ・実施日 2月15日（日）
- ・会場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
- ・参加者数 1名

(セ) 朗読と音楽と映像による賢二ヒストリア

- ・実施日 2月23日（月・祝）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 安藤喜代氏（演出）、茂呂久美子氏（朗読）、鈴木解子氏（朗読）、白神心音氏（朗読）、稲葉美和氏（音楽・箏演奏）
- ・参加者数 96名

(ソ) ワークショップ「ワクワク缶バッジづくり」

- ・実施日 3月15日（日）
- ・会場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
- ・参加者数 15名

エ 教員見学会

- ・実施日 7月31日（木）、8月5日（火）、8月6日（水）
- ・会場 栃木市立美術館・文学館
- ・参加者数 累計37名

オ 出前講座

(ア) 市民向け出前講座

- ・実施日 9月2日（火）、1月21日（水）、2月13日（金）
- ・会場 大宮公民館、都賀公民館、大平隣保館
- ・参加者数 累計90名

(イ) 市内小中学校等への出前授業

- ・実施日 10月18日（土）、10月30日（木）、2月26日（木）
- ・会場 栃木第三小学校、合戦場小学校（2回）
- ・参加者数 累計143名

カ 市内飲食店等との連携イベント

(ア) 佐野市立吉澤記念美術館特別企画展「江戸から明治、本と浮世絵のオドロキ」
コラボ（スタンプラリー）

- ・実施日 7月5日（土）～10月19日（日）
- ・参加館 佐野市立吉澤記念美術館、栃木市立美術館
- ・景品配布数 124点（佐野市立吉澤記念美術館：クリアファイル、栃木市立美術館：北斎缶バッジ）

(イ) 歌麿展×市内「雪月花」ブランドコラボ

- ・実施日 10月10日（金）～12月14日（日）

- ・参加店舗数 市内飲食店 4 店舗
- ・景品配布数 41 点（アクリルキーホルダー）、407 枚（藤沢市提供ポストカード）

(2) 栃木市立文学館

企画展を 2 回開催、また、年間を通じて市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

ア 開館期間 4 月 1 日（火）～3 月 31 日（火）

イ イベント等

(ア) 学芸員によるギャラリートーク

- ・実施日 4 月 26 日（土）、6 月 22 日（日）、8 月 23 日（土）、10 月 25 日（土）、12 月 14 日（日）、3 月 7 日（土）

- ・参加者数 累計 26 名

(イ) 路地裏散歩「詩人 柴田トヨの住んだ町」

- ・実施日 6 月 7 日（土）
- ・案内 100 歳の詩人柴田トヨとあゆむ会
- ・行程 新栃木駅～第二公園～幸来橋～文学館
- ・参加者数 15 名

(ウ) 座談会「トヨさんの思い出」

- ・実施日 6 月 28 日（土）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 柴田健一氏（登壇者・柴田トヨ長男）、五十嵐麻子氏（登壇者・元飛鳥新社編集者）、押田雅治氏（登壇者・元産経新聞社編集企画委員）、村上正子氏（司会・100 歳の詩人柴田トヨとあゆむ会会長）
- ・聴講者数 37 名

(エ) ワークショップ「ミニよしずづくり」

- ・実施日 7 月 27 日（日）
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・講師 渡良瀬ヨシ愛好会
- ・参加者数 4 名

(オ) 映画上映会「くじけないで」

- ・実施日 8 月 24 日（日）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・参加者数 50 名

(カ) 朗読会「詩の朗読とハーモニカ演奏でつむぐ柴田トヨの世界」

- ・実施日 9 月 7 日（日）
- ・出演 とちぎ蔵の街トヨさん一座（石原恵子氏、板橋千代子氏、熊倉常雄氏、柴田健一氏、鈴木重子氏、茂呂久美子氏）
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・参加者数 54 名

(キ) ワークショップ「ミニヨシ灯りづくり」

- ・実施日 12月7日（日）
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・講師 渡良瀬ヨシ愛好会
- ・参加者数 9名

(ク) クリスマスミニコンサート

- ・実施日 12月14日（日）
- ・出演 県立栃木女子高等学校コーラス部
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・参加者数 54名

(ケ) 文学散歩「逸見猶吉ゆかりの地めぐり」

- ・実施日 2月14日（土）
- ・案内 渡良瀬遊水地ガイドクラブ
- ・場所 渡良瀬遊水地内（谷中村史跡保全ゾーン等）
- ・参加者数 4名

(3) 栃木市立美術館及び文学館のPR

専用ホームページ及びSNS公式アカウント（X、Facebook、Instagram）を運用し、積極的に情報発信を行った。そのほか、FMくらら857や広報とちぎにおいて美術館・文学館の収蔵品と展覧会の紹介を行い、美術館・文学館の活動をアピールした。また、美術館・文学館施設案内リーフレット及び美術館・文学館展覧会スケジュールを作成し配布した。また、「鈴木賢二と徹」の開催に合わせ、市ゆかりの作家である鈴木賢二と鈴木徹に親しみをもってもらうことを目的として、市内小学校5,6年生の児童に「栃木市ゆかりの作家を知ろう！」を配付した。

2 第1回栃木市立美術館美術品収集専門者会議の開催

美術作品の購入及び寄附等の受入れに当たり専門者会議を開催した。

- ・開催日 7月31日（木）
- ・場所 栃木市立美術館
- ・内容

購入作品 田中一村《池亭聞蛙》大正11（1922）年7月 紙本墨画淡彩、掛軸
田中一村《山水図》大正15（1926）年2月 絹本着色、掛軸

受贈作品 清水登之《教会のある風景》1910年代 鉛筆・水彩、紙
清水登之《水辺の風景》昭和12（1937）～昭和13（1938）年頃
墨・水彩・紙

越天庵雪人、鹿津部真顔、歌麿他「長岡関連資料」江戸時代（19世紀） 短冊96点

飯塚琅玕齋《虚心『画帖』》昭和22（1947）年秋 紙本墨画